

広報誌

うえるふえあ

69号

2015.10.25

発行 社会医療法人慈生会広報委員会 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL (0993) 72-0055



秋祭り

あきまつ
プログラム

1. 始まりの挨拶
2. [Redacted]
3. 「フラダンス」
- 少年団「太極拳」
5. 盆踊り
6. 終わりの挨拶

10月31日に第15回ウエルフェア秋祭りを開催しました

経営理念

- 患者様の健康回復に努め、もって患者様の生活安定と幸福に貢献すること
- 地域住民の健康維持管理に努め、もって地域社会の発展に貢献すること
- 職員の生活向上と幸福をはかること

基本方針

- ◇ 患者様に満足してもらえる医療を提供します
- ◇ ストレス社会と高齢社会に対応した専門医療を提供します
- ◇ 地域医療に対応したプライマリーケア機能を高めていきます
- ◇ 高い技能と優れた人格を併せもった人材を育成します

イベント報告



そうめん流し (デイケアあおぞら)

9月29日に、デイケアの一日行事として唐船峡のそうめん流しに出かけました！移動の車の中でも会話が弾み、あっという間に到着！流しそうめんだけでなく、おにぎりやいなり、ニジマスの塩焼き、鯉こくなど、それぞれ選んだ料理を食べ、皆さん満足そうでした。肌寒く、小雨が降るあいにくの天気でしたが、あおぞらメンバーでそうめん流しを楽しむことができました！



棒踊り・太鼓踊り

10月28日に、山口棒踊り保存会と東鹿籠太鼓踊り保存会の皆様により踊りが披露されました。この踊りは、毎年南方神社、妙見神社の豊年祭りで奉納されるものです。山口、東鹿籠の方々、有難うございました。

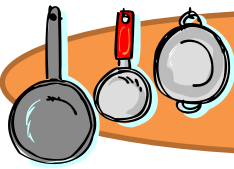


敬老の日

敬老の日に、当院清掃の業務委託をおこなっている(株)美創産業様から、色鮮やかなお花をふんだんに使用した華やかで豪華なアレンジメントの花スタンドを寄贈していただきました。本当にありがとうございました。

うみがめ病棟では敬老運動会を開催して、楽しみました。





行事食 (レストラン課)

月 1 回実施される行事食の紹介です



7月の薬膳料理（土用の丑の日）

7月の行事食は夏場の弱りがちな胃腸の健胃整腸作用を目的とした薬膳料理です。

《料理長の一言》薬膳の書より 鰻について
鰻には良質なタンパク質やカルシウム、ビタミンA、Eリンなどたっぷり含まれています。「目のビタミン」と呼ばれるほど視力に関係が深く、ビタミンは豚肉や牛肉の160倍もの量が入っているとされています。老化防止や成人病に効くビタミンEは牛肉の約10倍、骨をつくるカルシウムも多く含まれています。だから、夏ばてによいとわれています。また骨粗鬆症等の予防につながるビタミンDも多く含まれています。脳細胞を形成する重要な任務を果たしているとされるDHA（ドコサヘキサエン酸）も、もちろんうなぎには含まれており、DHAはコレステロール低下作用や効アレルギ作用などもあるとされています。

人病に効くビタミンEは牛肉の約10倍、骨をつくるカルシウムも多く含まれています。だから、夏ばてによいとわれています。また骨粗鬆症等の予防につながるビタミンDも多く含まれています。脳細胞を形成する重要な任務を果たしているとされるDHA（ドコサヘキサエン酸）も、もちろんうなぎには含まれており、DHAはコレステロール低下作用や効アレルギ作用などもあるとされています。

8月の薬膳（七タソーメン）

8月の行事食は疲労回復に効果的な薬膳料理です。



9月の薬膳（十五夜）

9月の行事食は疲労回復や視力回復に良いとされる食材を用いた薬膳料理です。



《料理長の一言》 「十五夜とは」

旧暦の8月15日を「十五夜」「中秋の名月」といい、秋の真中に出る満月の意味で現在用いられています。新暦では1ヶ月程度のズレが生じるため、9月7日から10月8日の間に訪れる満月の日を十五夜、中秋の名月と呼んでいます。十五夜とは満月を意味し、月が新月（真っ暗の状態）から満月になるまでに約15日かかるのがその由来とされています。綺麗な満月である「十五夜」で

月見という文化が始まったのは平安時代とされ、当時は貴族の道楽で船に乗り池やお酒の杯に映った月を楽しんでいたとか？（当時は月を直接見るのは良くないとする風習があった。）それが江戸時代に入ったころから庶民にも広まり、作物が月の満ち欠けとともに成長することから月は豊作の神様、縁起のいいものとして捉えられ十五夜は秋の収穫に感謝する収穫祭として親しまれるようになりました。収穫祭ではその秋に採れた作物を感謝とともに神様に捧げます、そしてこの場合の神様は“十五夜”であり、穀物から作ったお団子と一緒に果物や芋類などを満月（神様）に向かって捧げます。九州では相撲を捧げるという地域もあり、枕崎市では今でも十五夜に子供相撲が行われています。

投 稿 作 品

幸せな日

太陽がまぶしい
ここは南国の小島
今日は家族で浜辺のパーベキュー
小船を浮かべて
サザエ、エビ、アワビ…
なんておいしいの。素敵な日
潮風の中、はだしでかけてく私
波がパチャパチャ
エメラルドグリーンの海にももぐったの



一番星とお月さんが
にっこり『こんばんは』
ああ…なんて素敵な
ああ…満点の星空降ってきそう
星空を見ながら涙がこぼれてきた
「やっぱりこの家族の中にいてよかったな」



回想法は、高齢の方を対象に週に1回集まって、楽しく話をしたり昔のことを語り合ったりするグループ活動です。今回は「家族」をテーマに話題にあがったことをご紹介します。

- Aさん：私は8人兄弟の長女だったから、親の手伝いもしたし料理やら色々してたよ。
- Bさん：私は弟がいて、それがもうでんぱで…(笑)。近所の子をいじめたりして、私まで叱られて大変でした。
- スタッフ：でんぱって？
- Bさん：いたずらばっかりするってことよ！
- Cさん：男の子はみんなそうだよ。言うこと聞かないよね。
- Dさん：私も弟がいたけど、弟に泣かされてばかりだったよ。
- Bさん：でもね、大きくなってみたらハンサムで立派で、一番頼りになる弟になったよ。



昔の思い出を語る表情はみなさん、生き生きされており、家族との思い出や当時の生活などを詳細に語って下さっています。

第26回コスモス会のご案内

秋風が心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて第26回コスモス会（家族会）の開催が、下記の通り決定しましたので、お知らせ致します。ご多忙とは存じますが、お時間のある方は是非、お越しください。



記

日時：平成27年11月7日（土） 13：30～15：30
（13：00より受付を行います）

場所：ウエルフェア九州病院 2階 会議室

内容：『口腔ケアについて』 DVD や実際のケア商品を使った講演

講師：ピーンスターク・スノー 株式会社 立和名 早苗 様

【座談会】

座談会は講演会の後に開催します。日頃の出来事や悩みをみんなで語り合い、学び合う場です。初めての方も是非ご参加ください。

※対象となる方：当法人の病院・関連施設をご利用の認知症患者様のご家族

以上



参加をご希望される方は、10月26日（月）までに、直接スタッフにお申し込み下さい（申し込み用紙は外来待合室および受付に用意しております）。お電話でものご連絡でも結構です。

また、当日交通の便がない方は送迎も致しますので、事前にご相談下さい。

ご不明な点がございましたら、スタッフへお気軽に声をおかけ下さいませ。

お問い合わせ先

社会医療法人慈生会 家族会実行委員会
鹿児島県認知症医療疾患センター
電話番号 0993（72）0055
担当 宮内・上野・大茂



認知症疾患医療センター

（ウエルフェア九州病院内）

受付時間：平日9：00～17：00

TEL：0993（72）4747

- ① 専門医療相談
- ② 鑑別診断とそれに基づく初期対応
- ③ 合併症・周辺症状への急性期対応
- ④ かかりつけ医等への研修会の開催
- ⑤ 認知症疾患医療連携協議会の開催
- ⑥ 情報発信

雑誌掲載

(その1)

「こころの救命 ～あなたは精神科救急・急性期を知っていますか?～」(2015年11月発行)に精神科急性期治療病棟をもつ精神科病院として、当院が掲載されます。

精神疾患の予防も含め精神疾患が疑われる方々や、精神疾患の既往歴のある方々の万が一に備えたガイドブック、また地域医療関係者の方々の精神科医療の理解と連携のためのガイドブックを趣旨として作成されております。



画像は
©NOVA 出版のご厚意により
ご提供いただいております。

(その2)

「日経 WOMAN 11月号 ～別冊 『心とカラダの疲れすっきり! BOOK』」(2015年10月7日発売)にストレスケア病棟がある病院として、当院所属の「日本ストレスケア病棟研究会」22病院が掲載されました。

実習生感想

8/3から10/9まで作業療法課に来ていた実習生に感想をいただきました。

実習の全体的目標としては、「OT活動の焦点をどこに当てて行っているのかを学ぶ」ということでした。OT活動に参加することで、目的や段階付けについて考えまた実際にレクレーションを企画することで学んだ考え方を生かすこともできました。

その他にもコミュニケーションの仕方や患者様の背景、性格などを考慮した声かけの仕方を学ぶことができました。

実習を通して学んだ人対人の関係は今後どの分野に就職しても通用すると思います。

10週間という短い間でしたが、ありがとうございました。

鹿児島県医療技術専門学校 木浦佳弘

ウエルフェア九州病院 診療実績

2015.7月～9月

月平均

1日外来患者数・・・111人

1日入院患者数・・・180人

区 分		7月	8月	9月
外 来	患者延数	2943	2696	2639
	新規患者数	34	27	21
	平均患者数	113.1	103.6	114.7
入 院	入院数	30	23	22
	退院数	15	25	25
	患者延数	5617	5617	5365
	平均患者数	181.2	181.2	178.8
	平均在院日数	249.6	234.0	228.3

医療福祉相談窓口

相談の窓口として、精神保健福祉士（医療福祉相談）が対応しています。経済面、年金、保険、加療中のご心配、また、要望や苦情などお気軽にご相談ください。相談内容についての秘密は厳守いたします。無料です。

受付時間 月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00（日曜・祝日は除きます）

相談を希望される方は、直接、当院地域医療福祉連携課窓口にお越しいただくか、病院職員にお申し出ください。電話での相談も受け付けております。

患者様の権利

- ◆あなたは、その生命・身体・人格を尊重されます。
- ◆あなたは、医療機関を選択し、セカンドオピニオンを取得すること、または転医することができます。
- ◆あなたは、医療を受けるにあたり、自分の状況を理解するために必要な情報を得ることができます。
- ◆あなたは、自らの自由な意思に基づいて診察・検査・治療等の医療行為を受け、選択し、または拒否することができます。
- ◆あなたの個人情報は保護されます。

患者様の責務

- ◆私は、インフォームドコンセントに基づき自らの意思で医療行為を受け、病気の治療に専念します。
- ◆私は、医師や看護師等の療養上の指示に従い、共同して自らの治療に参加します。
- ◆私は、療養中は病院の規則に従い、病院や他の患者様に迷惑をかけません。
- ◆私は、医療費などの支払い請求を遅滞なく支払います。



訪問看護ステーション まくらざき

・〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL 0993-72-1508



高齢者グループホーム 福祿寿

・〒898-0022 鹿児島県枕崎市宮田町172番地1 TEL 0993-72-6608



社会復帰アパート ハイツ・ワンステップ

・〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町163番地



居宅介護支援事業所 うえるふえあ

・〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL 0993-72-0055



共同住居 は一もに家

・〒898-0022 鹿児島県枕崎市宮田町175番地 TEL 0993-72-6855



地域活動支援センター うえるふえあ

・〒898-0089 鹿児島県枕崎市白沢北町191番地 TEL 0993-72-9242

ご意見箱

当院では意見箱を設置し、患者様、ご家族様からのご意見・ご要望に出来るべく取り組んでいます。寄せられたご意見・ご要望と、それらに対する回答を一部紹介します。

■最近診断が終わってから会計までの時間が20分くらいかかっている。もう少し短くなるようにしてほしい⇒貴重なご意見ありがとうございます。患者様が診察室を出られてすぐに会計が出来れば、待ち時間も少しは短くなるのですが、会計までの間に医師による診察の記録、看護師による検査等の確認、薬剤師による薬処方の確認、医療事務にて確認計算作業、そして会計の運びとなります。このような業務があり時間を要しております。ご理解ご協力をお願い致します。お急ぎの方、長く待っているなどと思われる際には是非声をおかけ下さい。病院としても、出来るだけ待ち時間が短くなる様待合室の環境も含め改善に取り組んで参りますので、お気づきの点が御座いましたらご意見を宜しくお願い致します。

☆外来診療担当表 (2015/10/1~) ■精神科当番 11/1 (日) 12/20 (日) 1/3 (日)
■内科当番 12/6 (日) 12/30 (水) 1/24 (日)

		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
精神科	再診	鮫島(拓)	完全予約制	鮫島(秀)	完全予約制	鮫島(三)	完全予約制	宮内	完全予約制	鮫島(拓)	完全予約制	鮫島(秀)	
		深川		鮫島(三)		稲留		迫口		宮内		迫口	
		濱田		濱田				鮫島(寛)		深川		稲留	
	初診	予約制		予約制		予約制		予約制		予約制			
	内科	児島				児島				児島			

鮫島(秀)：秀弥/鮫島(拓)：拓人/鮫島(三)：三恵子/鮫島(寛)：寛人

※新患・初診は「予約制」です。受診される際は事前にお問い合わせください。

連絡先：TEL 0993-72-0055 (地域医療福祉連携課)

【編集後記】

朝夕めっきり寒くなり、秋めいてまいりました。風邪やインフルエンザのシーズンでもあります。うがい手洗いを「ルーティン」(決められた一連の動作、日課)にして予防に努めましょう。(前床)



発行人 鮫島秀弥 社会医療法人慈生会

〒898-0089

鹿児島県枕崎市白沢北町191番地

TEL (0993) 72-0055 FAX 72-1199

URL <http://www.wkh.or.jp/>

E-mail jiseikai@wkh.or.jp